

2020年度 (2020年4月-2021年3月) 技術委員会活動報告

2021年4月16日

日本アルコール検知器協議会 第7回定時総会



主な内容

1. 2020年度活動報告
2. 2020年度活動決算報告
3. 今後の取り組みについて

2017年度～2020年度の活動計画

項目	活動内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定運用																
	検定合格品有効期限																
②外部検定	検定機関の調査																
	JB10001規格の策定																
	R126WG																
	基準器評価																
	プレテスト																
	JB10001検定運用																
	JB10001維持審査																
③規格WG活動	JB20001規格策定																
	ISO/TC272対応																
④ガスWG活動	Dry-WetGas関連評価/評価機関調査等																
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応																
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応																

■ 作業完了

2020年度の取り組みについて

- 外部検定の運用状況の注視
- JB20001規格及びISO(JIS)化対応
- アルコールガスのトレーサビリティ調査
- 義歯安定剤連絡会対応
 - 臨床試験実施機関(現時点、長崎大学歯学部、徳島大学歯学部を想定)での試験立会(主は検知器使用方法のご説明)
 - 試験結果の考察
- その他HP等からの技術的相談対応

技術委員会メンバー

登録会社15社33名

光明理化学工業株式会社
株式会社篠原計器製作所
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
株式会社ネモト・センサエンジニアリング
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測

委員長:光明 畑
副委員長:ヤナコ計測 上西様

(会社名のみ・アイウエオ順)

2020年度活動スケジュール

2020年度技術委員会開催日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/16 第六回定期総会 (東京/フクラシア八重洲) 第一回(中止)			●7/14 大阪 第二回 CIVI研修センター 新大阪東 E704号室 <small>(一部web会議)</small>			●10/14 東京→Web 第三回		●12/9 Web 臨時		●2/24 大阪 →Web 第四回	

●規格(ISO)WG

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 第一回:8/4 | 第九回:10/7 | 第十七回:1/6 |
| 第二回:8/19 | 第十回:10/14 | 第十八回:1/20 |
| 第三回:8/26 | 第十一回:10/21 | 第十九回:2/3 |
| 第四回:9/2 | 第十二回:10/28 | 第二十回:2/17 |
| 第五回:9/9 | 第十三回:11/4 | 第二十一回:3/10 |
| 第六回:9/16 | 第十四回:11/18 | 第二十二回:3/24 |
| 第七回:9/23 | 第十五回:12/9 | |
| 第八回:9/30 | 第十六回:12/23 | |

●臨時技術委員会12/9

●JCCLS委員会(ISO)

- 第一回:10/23
- 第二回:2/22

いずれもWeb会議にて

2020年度の主な活動実績

1. 外部検定の運用、システムの確立
2. アルコールガスのトレーサビリティ調査
3. JB20001規格及びISO(JIS)化対応
4. J-BACに寄せられた技術的問い合わせ対応
 - ・義歯安定剤連絡会、国土交通省、医療法人明日香会ASKAレディースクリニック、日通商事、検査医学標準物質機構(ReCCS)

外部検定運用

J-BAC認定品

2019年度：7社26機種

2020年度：5社5機種（新規申請企業としては1社）

J-BAC認定品

2021年3月時点：8社31機種

-新規申請-

・2021年1月申請

申請数：1社2機種

現在：CERI様での評価中

-維持審査-

2020年度維持審査-全社対応済み

外部検定システム(検定審査会グループ化)

技術委員会登録会社15社

- 光明理化学工業株式会社(除)
- 株式会社篠原計器製作所(除)
- ①新コスモス電機株式会社
- ②株式会社タニタ
- ③中央自動車工業株式会社
- 東海電子株式会社(除)
- ④株式会社東洋マーク製作所
- ①ドレーゲルジャパン株式会社
- ②NISSHAエフアイエス株式会社
- ③株式会社ネモト・センサエンジニアリング
- ④株式会社パーマンコーポレーション
- ①株式会社パイ・アール
- ②フィガロ技研株式会社
- ③前野技研工業株式会社
- ④株式会社ヤナコ計測

(会社名のみ・アイウエオ順)

4グループ

申請会社以外に割り振る

- ⇒ 2019年6月新規申請分G①対応済
- ⇒ 2019年11月仕様変更G②対応済
- ⇒ 2019年11月新規申請分G③対応済
- ⇒ 2020年4月維持審査分G④対応済
- ⇒ 2020年5月維持審査分G①対応済
- ⇒ 2020年6月維持審査分G②対応済
- ⇒ 2020年7月維持審査分G③対応済
- ⇒ 2020年9月維持審査分G④対応済
- ⇒ 2020年10月新規申請分G②対応済
- ⇒ 2020年12月維持審査分G①対応済
- ⇒ 2021年1月新規申請分G③対応中

外部検定システム(その他)

1. 維持審査運用の確立
2. 試験報告書の修正(保留欄追加)
3. 同一型式及び仕様変更のルール化

アルコールガスのトレーサビリティ調査

○ ドライボンベガスとシミュレーター(ウェットガス)の

相関関係をCERI様で検討

→ 各企業はトレーサビリティの取れたドライガスでの試験が可能

→ CERI様もより信頼性の高い試験に賛同

→ WG設置へ参加企業募集

参加表明メンバー

タニタ: 望月様、金成様、森様、飯田様

東海電子: 杉本様、高木様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

ヤナコ計測: 上西様(リーダー) 光明: 畑

アルコールガスのトレーサビリティ調査

検査医学標準物質機構(ReCCS)より

ReCCS様よりアルコール機器の校正用の検査水の製造を検討。

現在製品は医療機器向けの検査薬で、小瓶で1本18,000円程度。

→ しかし、アルコール検知器業界では高価で使用できない(普及しない)と認識して頂き、想像と現実のギャップをどう解決するかを社内検討。

—宿題として—

1. 一般ユーザー向けに簡易的なアルコール検査水(ガス?)の価格で実現できれば、受け入れられるか？
2. アルコール検知器用QC試料検討における検証のため機種を借りたい。
→ 技術委員各社にアンケートを実施(3/17~3/22)

—アンケート結果—

1. 15社中5社必要
2. 15社中4社貸し出し可能

JB20001規格及びISO(JIS化)

- JB10001外部検定開始されたことを受け、次グレードの規格整備が必須。
 - 第一回技術委員会にてJB20001規格策定へ
 - WG設置へ(参加企業募集)

参加表明メンバー

タニタ: 望月様、金成様、飯田様、森様

東海電子: 杉本様、高木様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

ヤナコ計測: 上西様 光明: 畑(リーダー)

JB20001規格及びISO(JIS化)

○ 規格WG

2020/8/4～2021/3/24まで合計22回のWG開催

JB20001の草案作成終了 [JB20001-2021\(案\)\(最終\).pdf](#)

試験報告書フォーマット作成終了 [報告書案20210324\(最終\).pdf](#)

○ ISOWG

- JCCLSよりアルコール測定器のISO化の協力依頼

- JCCLS内にISO化のWG立ち上げ

東海大学 宮地先生(JCCLS副委員長)を主に畑リーダー担当

- 2019年11月開催のISO国際会議へのPWIの

J-BAC案を提出

- JB20001をベースに案作成終了 [20_Feb_2020_PWI_22436_alcohol20210324.docx](#)

→ 英訳のため外部委託(アンケート実施:技術委員会全社承認済み)

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

○ 義歯安定剤連絡会

- “入れ歯安定剤に含まれるアルコールの影響”の無罪判決に対する義歯安定剤連絡会より問合せへのプレ対応及び評価器の貸し出し
- 2019年4月小林製薬様による調査結果に対する協議
- 研究費用の協力要請を断るが、試験手法、試験用機種への対応
- 義歯安定剤WGの立ち上げ(参加企業募集)

参加表明メンバー

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 川畑様、河口様(リーダー)

中央自動車工業: 高橋様 光明: 畑

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

○2020年6月末: コロナにより臨床試験が準備遅延。7月総会にて見直しの報告。

○2020年10月頭:

①臨床試験のプロトコル案の策定とプレスタディの実施

(年内⇒2021年6月末)

②各大学との臨床試験委託契約の締結(年内⇒2021年12月末)

③各大学の臨床審査委員会への上程および臨床試験実施

(21年3月⇒2022年3月)

○ 2020年10月中旬: 連絡会にてプレスタディを実施するにあたり、前回と同様に、
以下の測定機器の貸し出し要請。

<貸出希望機器>

・中央自動車社製 ソシアックα(半導体式) 5台

・フィガロ技研社製 フーゴsmart(電気化学式) 5台

<貸出期間>

約4ヶ月(可能なら来年2月末まで)→ 10月末に両社より連絡会へ機器送付済み

○2020年3月: 上記日程変更

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

- その他技術的問い合わせ対応
 - 国土交通省
各運送事業者の新型コロナ対策としての検知器のマウスピースの除菌対策に要する時間について。
 - 医療法人明日香会ASKAレディースクリニック
不妊治療で行われる子宮卵管造影検査で用いる造影剤（イソビスト）使用後の影響について。
 - 日通商事
薬や持病、飲食物等による反応

2020年度決算

項目	活動内容	予算
規格WG	海外規格文書購入費	10万円
ガスWG	トレーサビリティ評価ボンベ費用	30万円
技術対応	評価備品購入費	5万円
合計		45万円

2020年度予算使用なし

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用状況の注視
2. JB20001規格運用開始への整備(CERI様との協議)
3. ISOはPWI→NPへの対応(JCCLS対応)
4. アルコールガスのトレーサビリティ調査(ReCCS対応)
5. 義歯安定剤連絡会対応(今年度のスライド対応)
 - 臨床試験実施機関(現時点、長崎大学歯学部、徳島大学歯学部を想定)
での試験立会(主は検知器使用方法のご説明)
 - 試験結果の考察
6. その他HP等からの技術的相談対応

2020年度～2023年度の活動計画(案)

項目	活動内容	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定合格品 有効期限	■	■	■	■												
②外部検定	JB10000検定運用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB10001維持審査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
③規格WG活動	JB20001規格策定	■	■	■	■												
	ISO/TC272対応	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	CERIとの運用協議					■	■	■	■								
	CERIの設備整備					■	■	■	■								
	プレテスト								■	■							
	JB20001検定運用									■	■	■	■	■	■	■	■
④ガスWG活動	Dry-WetGas関連評価 /評価機関調査等	■	■	■	■	■	■	■	■								
	Wet試料液検討評価 (ReCCS)			■	■	■	■	■	■								
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会 対応	■	■	■	■	■	■	■	■								
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの 技術的相談対応	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ 作業完了、■ 作業予定

まとめ

以上、コロナ禍の中、JB10001維持審査が運用実施され、外部検定システムが確立でき、JB20001規格案を作成することが出来ました。

2021年度は、JB20001の運用へ向けたCERI様との協議、ISO化への規格対応、ReCCS等によるガス標準化、義歯安定剤連絡会を始めとした種々の技術問合せ対応を次期委員長の元、実施されると思います。引き続き、会員企業様のご協力の程、宜しくお願い致します。

2019年度より2年間ありがとうございました。